

## 平成 21 年度まちづくり懇談会会議録【嶺田地区】

日 時 平成 21 年 7 月 18 日 19 : 00 ~

会 場 小菊荘

参加者 54 人

病院長からの「地域医療を守り育てる」と題した説明のあと、参加者の皆さまとの懇談(質疑応答)に入りました。

懇談(質疑応答)

菊川市立総合病院や地域医療に関すること

### 会場からのご意見・ご質問

男性

後期高齢者ですが、夜間に救急車で病院へ行かなくても診てられますか？

病院長

看護師が、電話などで判断のうえ、掛川市内に開設されている急患診療室へ出向いてもらうこともあります。

しかし、急患診療室や開業医を案内されたことから、行ってもらってみると、最終的に菊川病院へ受診することとなる場合があります。それは、電話では、急患診療室や開業医で対応(処置)するよりも病院の方が望ましいという急患診療室などの医師の判断です。

また、菊川病院の医師には、救急車で菊川市民が搬送された場合は、診察を断らないよう申し伝えております。

いろいろと御不便を掛けますが、何とぞ御理解をいただきたいと思います。

男性

2年前、足が上がりなくなったことから、菊川病院へ行きました。そのとき、医師が言った発言に心が痛みました。医師の発言は注意して欲しいと思います。

病院長

十分に注意して話をするようにします。また、御意見として承ります。

(以下、ご本人の症例に関するやり取り有り)

男性

医師が少ないというが、どこへ行ってしまっているのでしょうか？

病院長

しかし、大きな病院や都会へ研修医や若い医師が行ってしまうなど、医師が偏在してしまっているということが理由です。

## まちづくり全般に関すること

### 会場からのご意見・ご質問

男性

私の願いは、出てきたら給料をもらうというという考えを捨てて、私も今から何十年か前に給料をもらって生活してきましたが、それはいいですけども、その頃と今とはガラッと変わってきたのです。だからそういう精神をできるだけ離れて、ボランティアもいいけれど、ボランティアといっても、ボランティアの人もお金がなければ生活できない訳です。ボランティア、ボランティアと言わずに……。私は好きなことは何でもやります。しょうがないです。悪いこともいいます。口が悪い。ところが口が悪い人は、腹はいい。言ったらすっきりしますから、そういうことで、今ボランティアをしていますが、あまりボランティアをいじめないようにしてください。

企画政策課長

わかりました。市政への提言ということで承りますのでありがとうございます。ありがとうございました。

大石 男性

生仁場の佐塚なんですが、約 300 メートルくらいの草刈の件ですが、これはどこが管理している場所でしょうか。それをききたいです。

企画政策課長

草刈をやって欲しいという意味でしょうか。

大石 男性(再質問)

草刈をやって欲しいという意味ではなく、今、草が 3 メートル以上になって

いて、その管理がどこになっているかを聞きたい。

建設経済部長

菊川水系につきましては、国土交通省が直轄でやっているところと、それから上流部にいきますとある場所では静岡県の管理下になります。場所的にはどの辺になりますでしょうか。

大石 男性(再質問)

生仁場の橋から下が 200 メートル、上が 100 メートルです。

建設経済部長

先ほどちょうど見ましたら、下がきれいに刈ってあるところと刈ってないところが分かれているのを確認しました。今、どこが河川管理しているかはっきりしませんので、帰りまして県の管理でしたら県のほうに、何故刈ってくれないのかというような話をしていきたいと思いますし、またいずれが河川管理者か確認いたしまして後ほどご連絡をさせていただきたいと思います。すいませんが、後で連絡先を教えてくださいませんか。

大石 男性

大石自治会です。それに関して、市長さんが「元気！菊川市」ということをやっていると言われたものですから、今日、約半分くらい刈りました。もう少しちゃんと話をしてから本当は刈りたかったのですが、まあそういうことですので、今半分借りまして、明日また半分刈りますので、また見に来ていただければありがたいです。

建設経済部長

本当にありがとうございます。建設課が河川の管理をしていますので、私を含めまして心からお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

大石 男性(再質問)

実際、役所の人たちに、悪いことの言い方だと動かされている。そういうことのないようにしてほしい。

大石 男性

先ほど、市長さんの地域づくり 1% 交付金の活用について説明がありました

けれども、実は、範囲というのは、どういうものがテーマとか、どういうものを申請したらいいかというのが非常にまだ不明というか、みんなが分からないと思います。出前講座みたいなのに活用の仕方というか、そういうものの計画があるかどうか教えていただきたいと思います。

市民生活部長

1%交付金事業の関係のPRというか、内容のことを詳しく聞きたいというご質問ということでお聞きしました。出前講座でもやっていますので、要請をいただければ、市の職員が出て行きまして説明をさせていただきます。また、本年度こういったチラシを作りまして、それぞれに配布をさせていただいておりますので、どんなものがあるかご確認いただければ結構ですし、また職員の方に、地域支援課になりますけれども、お話いただければ、また伺って説明させていただきます。

大石 男性(再質問)

わかりました。できたら、各地域から申請されたようなものを事例として見せていただくとか与えていただくということはできますでしょうか。

市民生活部長

最終的には、それぞれの事例を一同に発表する機会を設けて行うような計画を持っていますので、どんな事業をどういう風にやっているかというのも各地区で参考になると思います。

大石 男性(再質問)

だいたいいつ頃それができますでしょうか。

市民生活部長

本年度は、事業が年度末3月までですので、その実績をまとめた後ということで開催をしていく予定になっております。それ以外で、当然出前講座等で事例等について報告はできますのでご活用ください。

大石 男性(再質問)

だいたいこういう活動で、金額がどれくらいというところまで分かりますか。

市民生活部長

活動で金額というのは参考になるかどうかはわかりませんが、いろいろな活

動をされているところがありますので、少しは参考になるかと思えます。できる範囲でやらさせていただきます。

#### 男性

先だって、議会の一般質問で出ましたけれども、我々嶺田地域は百姓、農業をやっていますが、非常に今年は、2, 3年前からジャンボタニシが蔓延してまいりまして、ひどい田んぼでは1町歩の4分の1くらいしか農業できない。大きな田んぼだとそういう状況です。私なんかも、作付けしている田んぼが多い関係で、いちいち一枚一枚管理していくのが、どんどん植えてかなければいけないものですから、こういうことを皆様知っておいてもらいたい。また、市のほうとしても何かそれに強力なものをお願いしたい。薬の強いのを使いたい。でも、今の農業では、農法がとれていない薬は使うことができない。それではジャンボタニシが死なない。強い薬を使うと魚介類が死んでしまう。こういうことが発生するので強い薬は使えないのですが、スレスレでもいいものですから、何か許可というか、そういったものを模索できたらありがたいのでお願いしたいと思えます。

#### 建設経済部長

先だって、議会の一般質問の中で話がありましたように、ジャンボタニシのお話をいただきました。決定的な対策は見出せないのが現実であります。先日、小笠の水稲自作組合の人と話す機会がありましたので、なぜこのように増えたのか、なぜこのように広がったのかという話をしたのですが、方法としてあるのは、ブロックローテーションを嶺田でやっていますが、ブロックローテーションをやることによって田んぼからとにかく一度水を抜くことによって乾燥させる。そのところを冬場の田起こしの時に、トラクターでかきまぜてジャンボタニシを潰してしまう。そのくらいしかないかなあというような立ち話をしたのですが、今、決定的なものが見出せないという状況にあります。これにつきましては、最近嶺田地域を中心に、堂山を中心に発生がみとめられていることは存じてあげていますので、農林課と中遠農林事務所などをもって、具体的にどうすればいいかということを検討するように私のほうから伝えておきます。

閉会 (20:50)